

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2020 年 4 月 6 日

報告書名：平成 30 年度 日本 NGO 連携無償資金協力 完了報告書

平成 30 年度日本 NGO 連携無償資金協力 完了報告書

2020 年 4 月 6 日

事業名	「西バゴー地域の初等教育における読書推進事業」(第2年次) The Reading Promotion Project at primary schools in West Bago region.	
事業対象地	ミャンマー連邦共和国、ヤンゴン地域ヤンゴン市、バゴー地域ピー県およびタヤワディ県	
事業期間	事業期間：2019 年 1 月 12 日～2020 年 1 月 11 日	
公的資金種別	平成 30 年度 日本 NGO 連携無償資金協力	
総支出・返還金	総支出：30,597,118 円 (返還額：270,366 円)	
プロジェクト 目標および、その 達成度	本事業の上位目標は、「対象地域で SVA の推奨する学校図書活動の意義が認められる」ことである。指標に基づいた次の結果から、二年次の対象小学校において読書活動が普及していると判断できる。 事業開始前、図書コーナーがなかった各対象校で、図書コーナーを設置した後、対象校全生徒の平均 65%が図書室を利用している(平均登録児童数 127 人/校のうち、平均 81 人/校/日が利用している)。また、移動図書館サービスにおける貸出期間中の子どもの利用者数は、事業実施前は 0 人だったところ、対象期間中の対象校全体で平均 62%の児童が図書を利用している(平均登録者児童数が 71 人/校のうち、平均 43 人/校/日が利用している)。更に、159 名の教員と親にインタビューの結果、148 名が対象校の児童の態度にポジティブな変化がみられると回答した。	
実施内容 概要	<u>(ア) 対象学校にて図書コーナーの設置・活用</u> 本年度対象学校 10 校(5 郡)を選定後、児童図書や家具等の備品調達を行い各校に図書室を設置した。対象校教員全 58 名に向けた図書館研修を 3 月末～4 月頭にかけて実施した。その後、図書 866 冊を配架し、6 月より本格的な図書室の活用が開始された。7 月以降は、対象全学校の図書室活用状況におけるモニタリングを毎月行った。加えて、1 年次対象学校の教員に向けて、フォローアップ研修を 2 回実施し、合計 41 名の教員が参加した。	受益者数 1,500 人の児童と 58 人の教員
	<u>(イ) 学校図書コーナーミニマムパッケージの配布と説明会の開催</u> 1 年次に策定した学校図書館ミニマムパッケージガイドラインを基に、ガイドライン説明会及び配布を本年度対象学校 10 校に行った。このガイドラインについて、対象地域の教育局長また公共図書館職員及び対象校の校長含む教員に向け全 81 名へ向けて説明会を、3 月に実施した。また、教育省の要請に基づき、全国の 600 校の校長が参加した教育省主催の全国研修において、本ガイドラインについて講義を行い、当会の推進する読書活動をより広範に周知した。	681 人

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2020年4月6日

報告書名：平成30年度日本NGO連携無償資金協力完了報告書

	<p><u>(ウ) 児童図書の出版</u> 一年次に引き続き15名から構成される児童図書出版委員会と共同で出版活動を行い、4タイトルを出版した。出版した図書は事業対象校および情報省を通じて全国の図書館に配架された。また、同委員会メンバーを対象に、日本から児童図書専門家を派遣して7月8日～13日の6日間に渡りヤンゴンにて児童図書出版研修を実施した。</p> <p><u>(エ) 公共図書館による対象学校における移動図書館活動の強化</u> 活動対象となる全252校の学校が選定され(18校/郡×14郡)、活動に必要な児童図書が各館につき計265冊が供与された。各公共図書館より対象校へ移動図書館活動が毎月平均6回行われた。同活動に合わせて、同学校に児童図書貸出しサービスも提供された。また、公共図書館職員より対象校の教員へ、絵本の読み聞かせを中心とした図書活動に関する指導も行われた。公共図書館職員への能力強化研修は11月に2回に分けて各2日間にて行われた。さらに、年間を通して四半期会議が行われ、活動の状況が共有され、より強化する点を協議された。加えて、当会より通年でモニタリングを継続して行い、活動状況の確認や指導にあたった。</p>	<p>1,500人の児童、全国の図書館利用者と児童図書出版委員会のメンバー15人</p> <p>252校の児童と教員、14館の公共図書館員</p>
成果	<p><u>成果1：対象学校にて図書コーナーが設置・活用された</u> 二年次対象校10校への図書コーナーの設置が完了し、合計866冊/校の児童図書が供与された(内訳：国内購入図書561冊、タイからの絵本145冊、日本からの絵本156冊、日本からの紙芝居4冊)。また、図書館研修を実施し、研修者全58名の研修前と比較して研修後の理解度が53%向上した。研修会後の図書館活動においてもモニタリングの結果により研修内容が85%活用されていることが確認出来た。さらに対象校全体年間平均9人/校が図書コーナー担当として配置され、対象校全校に最低5人以上が配置された。</p> <p><u>成果2：学校図書コーナーミニマムパッケージが形成された</u> 学校図書コーナーミニマムパッケージのガイドラインを適応した小学校が二年次対象校の10校増加した。また、郡教育局職員および学校長を対象にミニマムパッケージの説明会を実施し、参加者81名が受けた自己評価テストの結果、半数以上の59名が85%以上の理解度で、全体平均では90%と示された。その後の図書室運営への関わりでは、教育局職員は、学校で行われた読書イベント等への参加や、対象学校の図書活動について他の学校への周知等を行っていることが分かった。対象学校長は、日常の図書室運営に関わっただけでなく、児童へ図書室を利用するよう促し、親や地域住民たちへも読書推進の呼びかけ等を行った。また追加で政府から支給された学校運営改善費用を活用して、自助力で図書の追加購入を行ったことが報告された。</p>	

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2020年4月6日

報告書名：平成30年度日本NGO連携無償資金協力完了報告書

	<p>成果3：良質な児童図書が出版された</p> <p>児童図書出版委員会メンバー15名へ研修を実施し、全参加者が研修後の自己評価テストにおいて、研修項目（絵本とは何か、絵本のジャンルへの理解、絵本の製作プロセスについての理解、製作における共同作業の中での各役割への理解等）につき全体平均93%という高い理解を示した。また、研修中の成果作品を通して、児童図書出版に必要な基準を満たしているかを専門家による評価を行い、48点満点中43点の平均値（=90%）という結果となった。さらに、児童図書出版委員会と協力し4タイトル（絵本2タイトル、紙芝居1タイトル、翻訳教育図書1タイトル）を出版した。</p> <p>成果4：公共図書館による対象学校における移動図書館活動が強化された</p> <p>各対象校に開校期間中は全体平均3回/年の実施がされたが、対象252校中8校のみ対象公共図書館の一時的な人員不足により2回の実施に留まった。但し、全対象図書館とも夏季休暇中にも対象校の生徒のいる地域で移動図書館活動を継続実施したため、合計で平均4回/年の活動の実施に至った。また、公共図書館により移動図書館活動を通じて学校教員へ図書館活動の技術伝達を行い、ランダムに選定した対象教員70名のうち7.5割である52名が、読み聞かせ活動に関するアンケートで70%以上のスコアを出しており、6割の指標を達成した。</p>
課題と対応策	2019年8月31日の豪雨により洪水が起これ、ピー県パッカウン郡の公共図書館で、合計約900冊の図書が損傷した（内、2018年以降N連支援で寄贈した図書は、184冊）。公共図書館と協議を行い、図書の保管方法として本棚の下にレンガを敷いて高さをつけるなど今後の予防策を含め対策を講じた。